

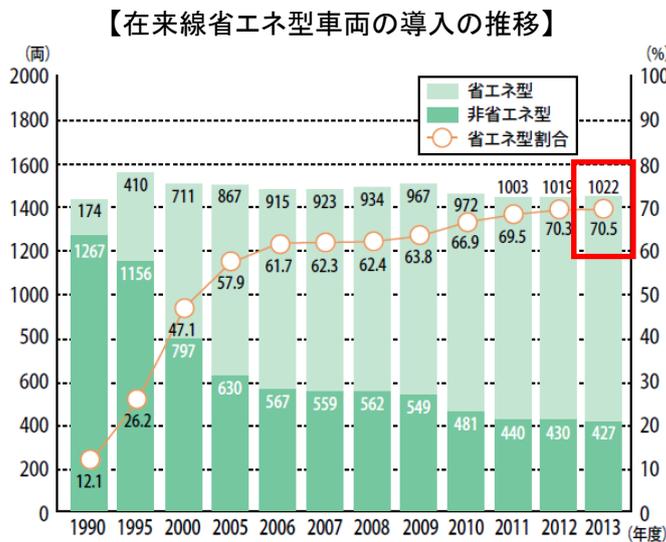
平成 26 年 9 月 30 日

「JR九州 環境報告 2014」を公開します

JR九州グループの環境への取り組みを「JR九州 環境報告 2014」としてホームページにて公開いたします。CO₂排出量削減をはじめとした、さまざまな環境問題に対する取り組みをわかりやすくご紹介していますので、是非ご覧下さい。

1 省エネ型車両導入の推移

JR九州では、会社発足以降、省エネ型車両の導入を順次進め、効率的なエネルギーの使用に努めてきました。その結果、2013 年度末において、在来線の全車両の 70.5%となる 1,022 両が省エネ型車両になりました。(全車両省エネ型車両である新幹線車両を含めると、73.2%となりました。)



885 系「白いかもめ・白いソニック」



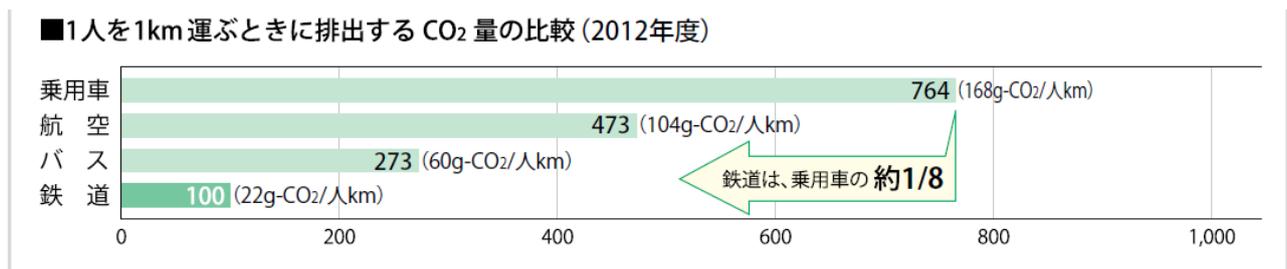
キハ 220 形

※「省エネ型車両」とは

電車では、ステンレスやアルミを用いた「軽量化車体」、電力を効率よく利用する「VVVF インバータ」または「回生ブレーキ」のいずれかが使われている車両のこと。気動車では「高効率エンジン」を搭載している車両のこと。

<参考> 地球にやさしい鉄道輸送

■1人を1km 運ぶときに排出する CO₂ 量の比較 (2012年度)



出典：国土交通省HP(運輸部門における二酸化炭素排出量)より

2 主な取り組みの紹介

JR九州

➤ 蓄電池電車の開発

電化されていない線区を走行する次世代の車両として、大容量の蓄電池を搭載した電車の走行試験を 2013 年度に行いました。



非電化区間を試験走行する蓄電池電車

➤ LED 設備の導入

2013 年度は行橋駅をはじめ約 219 の駅と駅商業施設、列車内などに設置しました。2013 年度末、累計で約 46,500 台となりました。



改札口の照明のLED化

➤ 省電力パソコンの導入

社内のパソコンを従来のデスクトップ型パソコンから省エネ型のノートブック型パソコンへの更新を行い、消費電力量の削減に取り組んでいます。



省電力パソコン

➤ IC カード認証導入によるコピー用紙削減

本社の複合機やプリンタにおいて IC カード認証機能の導入を進めています。利用状況の「見える化」やミスプリント防止機能の活用によりコピー用紙削減に努めています。



IC カード認証複合機

グループ会社

➤ 太陽光発電と環境保全

(JR九州エコホス(株))

本社及び工場屋根全面に太陽光発電パネルを設置し、発電を開始しました。従来からの蒸気回収システムなどの取り組みも含めて会社全体で環境保全に努めています。



JR九州エコホス(株)本社及び工場

➤ 食包材廃棄ロスの削減

(JR九州ファーストフーズ(株))

各店舗において、材料の発注から商品作成まで計画的に行うとともに、一部店舗では陶器カップでの提供を行っています。



店内用マグカップ

※ 詳しくは JR 九州ホームページ「JR九州 環境報告 2014」をご覧ください。

<http://www.jrkyushu.co.jp/environment/>